

第3回桶川市振興計画審議会の開催結果

〈実施結果概要〉

【開催日】令和4年2月26日（土）

午後2時から午後4時15分まで

【開催場所】本庁舎 会議室402

【出席委員】11名 ※1名欠席

【役職】会長：大沢委員（学識経験）

副会長：水村委員（教育委員会委員）

【傍聴者】1名

【諮問事項】桶川市次期振興計画基本構想について諮問

【審議等】

- ・第4回審議会では、第3回審議会での意見等を踏まえ整理された資料を基に、基本構想の理念等について何を残していくべきか、何を变えていくべきか、引き続き議論する。

【その他】

- ・次回の審議会日程

第4回 4月16日（土）9時30分から

第5回 5月14日（土）9時30分から

別記様式（第3条関係）

会議録（1）〈要約〉

会議の名称	第3回桶川市振興計画審議会
開催日時	令和4年2月26日（土） （開会）午後2時00分、（閉会）午後4時15分
開催場所	桶川市役所 会議室402
主宰者の氏名	企画財政部企画調整課
議長の氏名	大沢会長
出席者氏名 （委員）	水村副会長、岩崎委員、新島委員、岡安委員、井上委員、秋山委員、和久津委員、中村委員、吉田委員、永井委員
欠席者氏名 （委員）	澁谷委員
説明員氏名	企画財政部企画調整課、ランドブレイン株式会社
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川邊部長、本庄副部長 企画調整課 向井課長、篠原係長、野原主任、木戸主任、須賀主事
会議事項	議 題
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 概要説明 （1）第2回審議会の結果について 3. 議事 （1）次期基本構想策定に向けたスケジュールについて （2）次期基本構想策定に向けて 4. 事務連絡等
	決定事項等
	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回審議会では、第3階審議会での意見等を踏まえ整理された資料を基に、基本構想の理念等について何を残していくか、何を变えていくべきか、引き続き議論する。 ・今回の審議内容についてご意見がある場合は、3月4日（金）までに事務局へ連絡する。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回総合振興計画審議会会議録・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1 ・第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況・・・・・・・・・・資料2 ・第五次総合振興計画 土地利用構想の進捗状況・・・・・・・・・・資料3 ・転入転出者アンケート結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4 ・市民意識調査クロス集計資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5 ・中学生まちづくりアンケート実施結果概要・・・・・・・・・・資料6 ・基本構想策定までのスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料7 ・桶川市第五次総合振興計画基本構想・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料1

会議録(2)

議事の経過	
発言者	発言内容
2 概要説明 (1) 第2回審議会の結果について	
事務局	資料1～資料6に基づき、事務局より説明。
委員	<p>市民意識調査の結果をみると、災害や子育てへの関心が高いようです。本市は大宮台地に位置し、地盤がよく災害に強いので、その点をアピールした方が良いと思います。【意見】</p> <p>また、病院の開設については、地域毎に病床数が設定されているため、桶川市に病院を開設することは難しいと伺っています。現在の地域医療の考え方は、軽度の症状の場合は、かかりつけ医で診察を受け、必要があれば病院で受診するといった流れになっています。こういった地域医療の充実や病院との連携強化を説明していく必要があると思います。【意見】</p>
委員	<p>資料2 p1の「101協働の推進 ②協働のまちづくりが進んでいると思う市民の割合」について、令和2年度未実施であるため、令和元年度の達成状況から「B」と判定している点は理解できますが、p5「305地域福祉の推進 ①民生委員における地域福祉活動件数」について、令和2年度の活動件数が減少し「D」と判定しています。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大で民生委員の訪問等も控えられたと考えられます。令和元年度までは目標を達成しているにも関わらず、令和2年度の結果で「D」と判定して良いのでしょうか。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルスの影響により達成できていないものがあることは、承知しています。公民館の利用者数など他にも新型コロナウイルスの影響を受けたものがあります。総合振興計画は令和2年度が最終年度となっているため、令和2年度を基準とし、一定のルールに基づき評価しています。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスの影響など、やむを得ない事情があった場合、その年度を除いて判断するという選択肢があっても良いと思います。【意見】</p>
委員	<p>民生委員について、新型コロナウイルスの感染が拡大している期間は、なるべく見守り訪問を控えていました。このため、令和2年度は活動件数が少なくなっています。</p>
会長	<p>評価については、基準年を変えてしまうと恣意的なものを受け止められてしまう可能性もあります。一方、コロナ禍での評価となり様々な捉え方ができると思いますが、市としては、計画最終年度の令和2年度を基準とせざるを得ない部分もあります。</p> <p>新型コロナウイルスの直接的な影響が明らかなものについては、その旨を明示するなど、読み手が分かるよう工夫していただくようお願いします。</p>
委員	<p>資料6の中学生まちづくりアンケートについて、回答率が89.8%となっていますが、Web回答はよく行われているものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>当課としては、初めて実施しました。小中学生にタブレットPCが配付されているため、このようなスタイルも増えてくるように感じています。</p>
委員	<p>資料6 p5 設問、桶川市が好きな理由で、「楽しく遊べる場所があるか</p>

	ら」という回答が一番多いです。「楽しく遊べる場所」が広場や公園のことを指すのか、屋内施設を指すのか、どのように捉えていますか。
事務局	アンケートの設問は、13～14歳の子ども達に負担なく直感的に回答してもらえるように設計したため、子ども達が考える「楽しく遊べる場所」がどんな場所なのかまで設問としておらず、把握できていません。
会長	「楽しく遊べる場所」は、子ども達の居場所と言い換えることもできると思います。自宅、職場でもない居心地のよい第3の場所として「サードプレイス」といった表現が使われます。今後、ワークショップやワールドカフェを実施する際に、ひとつの切り口として、市民が想うサードプレイスについて掘り下げてみてほしいと思います。【意見】
委員	資料2で達成状況をまとめていますが、p14には施策の満足度と充実希望度の関係で分布図が示されています。この分布図は市民意識調査の結果で、前頁までの達成度評価とは直接リンクしていないということでしょうか。また、達成度評価と市民意識調査の結果に何か相関関係があれば、ご説明ください。
事務局	分布図は、市民意識調査の結果を定量的に図化しています。分布図のプロットの傾向と達成度評価の達成状況との相関を見出すのは難しいところですが、各施策のうち、子育て、学校教育、防災・防犯、生活道路など住環境、商業振興、医療福祉については、充実希望度が高い傾向にあります。
委員	市民の意識と施策の達成度が乖離しているところもあると思います。その溝をどのように埋めていくのかは、次期計画の検討の際に重要な視点になると思います。【意見】
会長	施策の達成度と市民意識との乖離については、市民ニーズに沿った諸施策を立案する際に重要な視点です。次期総合振興計画では、留意して策定してほしいと思います。【意見】
委員	資料5の市民意識調査のクロス集計について、濃淡で色分けして、1位と2位を表現していますが、例えば、p24にある「10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいか」については、1位と2位が「医療機関や保健サービスが充実しているまち」と「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」となっています。回答数でみると大きな差はありませんが、1位と2位の濃淡に差があり、視覚的に大差があるように見えてしまいます。僅差の場合は、一目で分かるようにしていただくと良かったと思います。今後の資料作成の際は工夫してください。【意見】
会長	ご指摘いただいた点につきましては、ご意見として承ります。今後、事務局で資料作成をする際に、配慮していただければと思います。 その他、気づいた点や分からない点がなければ、議事に進みたいと思います。今後、何か疑問等があれば、3月4日（金）までに事務局へご連絡ください。

会議録(2)

議事の経過	
発言者	発言内容
3 議事 (1) 次期基本構想の策定に向けたスケジュールについて (2) 次期基本構想策定に向けて	
事務局	資料7・参考資料1に基づき、事務局より説明。
会長	<p>基本構想について、参考資料1のp32に土地利用構想図、p33には、基本構想の全体像を示しています。これを踏まえ、「引き続き残していくべきもの」や「新たに付け加えた方がよいもの」など、今後何を大切にすべきか、委員の皆さんの想いやイメージをいただければと思います。</p> <p>冒頭に委員からご意見のあった、医療や防災については非常に重要です。来年は、関東大震災発生から100年を迎えます。また、スペイン風邪の流行も約100年前に起きています。最近では、令和元年に台風19号の風水害がありました。日本は災害が多く、防災について、常に念頭に置く必要があります。人々の命を守るため、医療や防災は、重要な視点になると思います。</p>
委員	<p>防災について、桶川市は大宮台地に位置し、比較的災害が少ない土地であることを情報発信していく必要があります。【意見】</p> <p>また、かかりつけ医と病院との連携など、地域医療について、説明していく必要があります。【意見】</p> <p>子育て支援について、桶川市は18歳まで医療費を無償化しています。この点についても情報発信していく必要があります。【意見】</p> <p>また、未来へのまちづくりとして「生きる力」、「生き生き」、「安心」、「暮らしやすい」、「活力」、「将来」、「希望」などのキーワードが考えられますが、「美しい人間関係」が、これからのキーワードになると考えています。【意見】</p> <p>世界的に有名な心理学者アドラーは、「人間の全ての悩みは対人関係にある。「美しい人間関係」を築くことが幸福になる唯一の方法である」と言っています。Googleをはじめ、生産性の高いチームは、心理的安全性が高いという結論が出ています。相手を尊重することが、大切ということです。この考え方は、まちづくりの基本になる部分です。【意見】</p>
会長	<p>防災や医療は、地域生活にもっとも身近な要素であり、今後のまちづくりにおいても重要な視点です。</p> <p>また、北京オリンピックでも、カーリング競技をはじめ、チームワークの強さが勝利に影響しているように思います。人口減少、少子高齢化が進展し、地域が縮小していく中、より良い人間関係を築くことも地域生活の幸福度の向上につながると思います。</p>
委員	<p>基本理念の一つに「人と自然が共生するまち」というものがありますが、世界的に注目されている「ゼロカーボン」や「SDGs」といった概念をいれていくと良いと思います。【意見】</p>
副会長	<p>本審議会では、基本構想の柱となる基本理念、将来像、施策の大綱を検討していくこととなります。第五次総合振興計画の策定から10年が経過し、これから先の10年を見据えた議論が必要となります。この中で、まちづくりの基本姿勢となる基本理念がもっとも重要であり、この部分から議論していく必要があります。</p>

	<p>まず、基本理念について、委員の皆様のご同意をいただき、次に施策の大綱、将来像という順で議論していただくのが良いと思います。【意見】</p> <p>この基本理念については、第五次総合振興計画の策定当時、どのような議論を経たのか教えてください。</p>
事務局	<p>第五次総合振興計画は、平成21年度から平成22年度にかけ、策定作業を行いました。当時の時代背景や市民会議等による議論などを経て、5つの基本理念にまとめています。</p> <p>将来像については、圏央道の開通等が予定されており、広域交通網の結節点として市が発展していくという時代背景や5つの基本理念を踏まえ、整理しました。施策の大綱についても、基本理念を受け「教育・文化」、「健康・福祉」など7つの分野に整理しています。</p> <p>参考資料1のp21に基本理念の説明がございます。こちらをご覧ください、現在と本市の10年後を見据え、ご意見を頂戴できればと思います。</p>
委員	<p>基本理念は、まちづくりの基本姿勢であり、一貫性が求められると考えています。10年が経過していますが、変える場合には、当時との状況変化を整理する必要があります。</p> <p>第五次総合振興計画の策定当時から世の中で何が変わったのかという視点で考えると、当時あまり普及していなかった概念としては、「SDGs」や「ゼロカーボン社会」などがあります。こういった新機軸に対し、現在の基本理念で内包するのを見極めていけば良いと思います。【意見】</p> <p>今後、予定されている高校生ワークショップでは、SDGsネイティブ世代の高校生達から良い意見がでるのではないかと期待しています。</p>
委員	<p>現在の基本理念を大きく変えるのは難しいと思います。</p> <p>これから桶川市も人口減少時代に入っていきます。市内に住む若い方々に対しての定住、また、子育て世代には、新たに転入していただけるような施策を推進する必要があります。【意見】</p> <p>資料6中学生アンケートでは、p9 設問7の「桶川市に住み続けたいかどうか」について、約30%の中学生が「桶川市外に住みたい」と回答しています。一方、資料5市民意識調査の結果p24の10年後の桶川市について、「医療機関の充実」に次いで、「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」が2位となっています。この結果は、未来を担う子どもたちに対する願いが表れているのだと思います。この視点を基本理念で表現できると良いと思います。【意見】</p>
会長	<p>本日は、委員の皆様から「SDGs」や防災など、基本理念に関するキーワードをいただければと思います。他にご意見はありますか。</p>
委員	<p>基本構想は、10年間の計画となり、将来像を描きながら長期的なスパンで考える必要があります。持続可能といった視点で、環境が世界での共通課題となっていますが、世界では紛争が絶えません。本市は桶川飛行学校平和祈念館がありますので、平和という視点も織り込んでよいと思います。【意見】</p>
委員	<p>このまま石油など化石燃料の使用を続けると、地球温暖化により、人間は地球上で生活できなくなってしまいます。世界規模で再生可能エネルギーへの転換に取り組み、身近なところでは、電気自動車の普及が進んでいます。まちづくりを考える上で「持続可能」という概念が一層大切になっ</p>

	ています。また、急激な社会変化を踏まえ「誰一人取り残さない」という考えも大切です。【意見】
委員	基本理念で、桶川市の特徴をキーワードとして入れられないでしょうか。「桶川市はこういうまちです」といえるもの、「人と自然が共存するまち」といった桶川市のカラーを出すようなものがあると良いと思います。【意見】
会長	桶川市を一言でいえるキーワード、「子育てするなら流山」ということで、流山市は認知されています。プロモーションの視点で「これといえば桶川だよ」というものがいいと思います。
委員	人口減少を見据えた生産性の向上や持続可能という視点から、「デジタル化」や「グリーン化」がキーワードになると思います。【意見】
会長	「デジタル化」は、デジタル技術により都市の課題を解決し、新しい価値を創出するといった「スマートシティ」という捉え方もできます。
副会長	昨今の「デジタル化」や「DX」について、産業界では10年前は、水素自動車も開発を進めており、電気自動車がここまで認知され、普及するとは想像していませんでした。ここ最近の5年くらいで、急激に電気自動車にシフトしてきました。トヨタが実証都市として静岡県裾野市に「スマートシティ」の建設を進め話題となっていますが、10年後は当たり前の中になっていると思います。技術革新がまちづくりに与える影響について、視野を広げて考えていけると良いと思います。【意見】
会長	変化する10年になると考えられるため、活性化の観点として「デジタル化」を入れても良いかもしれません。
委員	人口減少に起因し経営資源が減少していくため、一人の稼げる能力を2倍、3倍にし、生産性を向上させる必要があります。現状8時間の労働を4時間とし、残りの時間で新しいことに取り組むことができる社会環境が、イノベーションにもつながり、理想だと思います。【意見】
副会長	今後、高齢化が一層進むため「高齢者がしっかり働けるまち」などの視点も必要だと思います。【意見】
会長	「アクティブシニア」が増えています。その方々が活躍できることは重要です。健康であり幸福につながる、「健幸」になれるのが桶川だとアピールしても良いと思います。【意見】
委員	資料6 中学生アンケートでは、p5 設問5の桶川市を好きな理由として「楽しく遊べる場所があるから」という意見が多いですが、「子どもの遊び場」について、公園なのか、室内のゲームなのか、今の若い世代の遊び場がどこにあるのか把握が難しいです。 タブレットで勉強したり、家庭内でゲームをしたりしているイメージがあります。子どもたちの居場所・遊び場所がどこにあるのか、また、子どもたちの遊び場をどのようにすれば良いのか、考えていく必要があります。【意見】
会長	中学生まちづくりアンケートの結果では、桶川市以外に住みたいと回答している中学生も多くいます。持続可能なまちづくりの視点として、未来の桶川を支える子ども達が、ずっと住みたいと想ってもらえることが重要です。 「ずっと住みたいまちづくり」の視点を総合振興計画の中で示し、関連諸計画も含め、体系的に取り組んでいく必要があります。【意見】

副会長	近年では、スケートボードが人気です。ある学校では、スケボーができる場所を造ってほしいという声もあります。スポーツライミングも人気です。時代とともに遊び方も変わっているので、そういったニーズの変化に対応できる遊び場があっても良いと思います。【意見】
会長	公園などの注意書きとして「できないこと」ではなく「やっていいこと」をメインに掲示している事例もあります。逆転の発想として、ネガティブな「できない」ではなく、ポジティブな「やっていいよ」をメッセージとして発信すると、創造的な施設利用につながると思います。【意見】
委員	「子どもの遊び場」について、昨今、公園や広場でのボール投げが禁止となっていることから、子どもたちの投げる力が弱くなっていると言われています。子どもが自由に遊べる場所が少なくなっていることから、既存施設の有効活用として、圏央道の高架下を活用して、スケボーができるようにしてはどうでしょうか。【意見】 子ども達の遊び場については、子どもの意見を聞くことも必要だと思います。【意見】
副会長	桶川市では、道の駅の整備を進めており、令和6年度の開業を予定しています。道の駅で皆さんが期待することは、魅力ある農産物の販売だと思います。以前、東京農大と意見交換する機会がありましたが、休耕地を活用し、新品種の野菜を開発することも地域活性化の一つになると思います。東京に近いという立地の強みを活かした新たな産業についても考えていくと良いと思います。【意見】
委員	道の駅について、地場産品を売ることは一つの案だと思います。 圏央道は、流通面においても、企業の関心は高いと思います。また、川田谷地区は、耕作には適した土地と言われています。地産地消に加え、生産した農作物を全国に運ぶことも容易です。農業法人が大規模に農地を活用してくれると良いと思います。【意見】
会長	他にご意見がないようであれば、ここで閉じたいと思います。また、今日以降、何か意見等があれば3月4日（金）までに事務局までご連絡ください。 本日、委員の皆様から頂いたご意見を事務局で整理してください。次回は、今回の意見を基に更に議論を深めたいと思います。 以上をもちまして、第3回桶川市振興計画審議会を終了いたします。慎重なご審議ありがとうございました。
事務局	次回に向け、今回、委員の皆様から頂いたご意見を整理いたします。本日は、ありがとうございました。